

平成30年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式1-1表)

記入見本

(様式1～様式3)

**資料全般において、修正液や修正テープの使用は不可です！！
間違えた場合はすべて書き直すか、二重線を引き訂正印を押してください。**

本申請書記載事項に相違ありません。

免除認定を受けた場合、認定後において日本学生支援機構が免除認定者の職業や業績等について調査を行うときにはその調査に協力することに同意のうえ、特に優れた業績について調査を行います。

**ここは必ず
本人直筆で！**

フリガナ
氏 名

**朱肉印で押印
(スタンプ印は不可)**

印

大 学 院 名			
課 程	修士（博士前期）課程	専門職大学院課程	博士（博士後期）課程
研究科名・専攻名			学 籍 番 号
奨 学 生 番 号	6	0 6	月 日 昭 和 年 月 日 平 成
現 住 所	〒 電話番号 ()		

選択して○で囲む。

■大学院における研究課題

題 目	
概 要	

**卒業後に住所が変更になる予定の方は、この住所は実家住所を記入する。その後5月末までに必ず新住所を機構へ報告すること。（スカラネット・パーソナルで変更可。）
この手続を怠ると6月に結果通知が届かない場合があります。**

**エクセルで直接入力する場合は、
文字切れになっていないか印刷後確認してください。**

**○の付け忘れに注意！
必ず6番には○をつけること。**

■教育研究活動等の業績

1	学位論文その他の研究論文	2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果（修士課程の修了要件に関する事項のため、博士（後期）課程は非該当）	3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果（博士前期課程の修了要件に関する事項のため、博士（後期）課程は非該当）
4	（専攻分野に関連した）著書、データベースその他の著作物（1及び2に掲げるものを除く。）	5	発明	6	授業科目の成績
7	研究又は教育に係る補助業務の実績	8	（専攻分野に関連した）音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	9	（専攻分野に関連した）スポーツの競技会における成績
10	（専攻分野に関連した）ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績（公益の増進に寄与した研究業績）				

記入の際は裏面記載の【記入上の注意】を参照。

800字程度にまとめる。

こちらに記載する業績と、「特に優れた業績の一覧表」(様式2)に記載する業績は一致するようにしてください。

エクセルで直接入力する場合は、文字切れになっていないか印刷後確認してください。

【返還誓約書の提出について】

該当するいずれかの口に✓すること。(提出予定の場合は提出予定年月も記載)

提出済み 提出予定(平成 年 月 大学へ提出予定)

【口座振替(リレー口座)加入申込の手続きについて】

該当するいずれかの口に✓すること。(手続き予定の場合は予定年月も記載)

手続き済み 手続き予定(平成 年 月)

提出または手続きが確認できない場合、申請を受け付けません。

【記入上の注意】

1. 「課程」欄は、該当するいずれかの口に✓すること。
2. 「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。貸与終了後に連絡先が変更となる場合、返還のてびき(24頁)を参照のうえ、必ず5月末までに機構に届け出ること。
3. 「教育研究活動等の業績」欄は、該当する数字を○で囲むこと。ただし、専攻分野に関連した業績に限る。
4. 「教育研究活動等の業績」欄に○を付した項目について、裏面にそれらの要旨を800字程度で記載すること。なお、論文、著書及び受賞については、それぞれ作成又は受賞の年月を記入すること。また、発表、学会誌等は、その名称、巻、号等を記載すること。
5. 大学院の成績証明書、特に優れた業績であることを証明する資料及び業績一覧表を必ず添付すること。(成績証明書は「教育研究活動等の業績」欄で「授業科目の成績」を選択していない場合でも提出が必要。)

(注) これは様式1-1(裏面)です。印刷は、様式1-1表裏の両面刷りとすること。

■業績一覧表〔修士課程・専門職学位課程〕

(様式1-2表)

以下1～7・10の各欄に様式2「特に優れた業績の一覧表」に記載した資料番号を記載してください。

奨学生番号	6	0 6	学 籍 番 号	
氏 名			研究科名・専攻名	
1. 学位論文その他研究論文				資料番号
(例) 様式2 No. 2～10参照				2～10
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果				資料番号
(例) 様式2 No. 11～14参照				11～14
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果				資料番号
(例) 様式2 No. 15参照				15
4. (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)				資料番号
(例) 様式2 No. 16参照				16
5. 発明				資料番号

■特に優れた業績の一覧〔修士課程・専門職学位課程〕

(様式1-2裏)

奨学生番号	6	06	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
6. 授業科目の成績				資料番号
様式2 No. 1参照				1
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績				資料番号
(例) 様式2 No. 17参照				17
8. (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績				資料番号
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本学は記入不要 </div>				
9. (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績				資料番号
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本学は記入不要 </div>				
10. (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績 (公益の増進に寄与した研究業績)				資料番号

■業績一覧表〔博士課程〕

(様式1-2表)

以下1～7・10の各欄に様式2「特に優れた業績の一覧表」に記載した資料番号を記載してください。

奨学生番号	6	0 6	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
1. 学位論文その他研究論文				
【博士論文】	有	無	評価	資料番号
※博士論文について有無と評価を記載してください。				
※博士論文を提出中はその旨を記載してください。				
※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は右欄に○を記載してください。			査読付き 原著論文	受賞 ・表彰
資料番号				
【研究論文】 ※①著者名、②論文名、③学術雑誌名(該当頁)、④発行日、⑤その他「掲載決定(予定)」等を記載してください。				
(例) 様式2 No. 2～10参照			○	2～10
【学会での発表】 ※①発表者名、②題目、③会議名、④主催者名、⑤発表日、⑥表彰・受賞等を記載してください。				
(例) 様式2 No. 11～14参照			○	11～14
※1 博士論文、査読付き学術雑誌への原著論文掲載、論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞がない場合、こうした実績が挙げることができなかった事情があれば、その事情を記載してください。				
※2 日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学金貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合には、その旨を記載してください。				
※3 機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得等があれば記載してください。				
(例) 平成31年4月より、日本学術振興会の特別研究員(DC2)に採用されたために奨学金を辞退。				
2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果				
大学院設置基準第16条は修士課程の修了要件に関する規定であるため、記入不要				
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果				
大学院設置基準第16条の2は博士課程の前期の課程の修了要件に関する規定であるため、記入不要				
4. (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)				資料番号
(例) 様式2 No. 15参照				15

■特に優れた業績の一覧〔博士課程〕

(様式1-2裏)

奨学生番号	6	0 6	学籍番号	
氏名			研究科名・専攻名	
5. 発明				資料番号
6. 授業科目の成績				資料番号
様式2 No. 1参照				1
7. 研究又は教育に係る補助業務の実績				資料番号
(例) 様式2 No. 16参照				16
8. (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績				資料番号
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本学は記入不要 </div>				
9. (専攻分野に関連した) スポーツの競技会における成績				資料番号
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 本学は記入不要 </div>				
10. (専攻分野に関連した) ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績 (公益の増進に寄与した研究業績)				資料番号

◆指導教員等の推薦理由

(様式1-3)

奨学生番号	6	0 6	学 籍 番 号	
氏 名			研究科名・専攻名	

※別紙を貼付する場合は、
指導教員の割印が左右2カ所に必要です。

エクセルで直接入力する場合は、
文字切れになっていないか印刷後確認してください。

この学生は、貴機構の特に優れた業績による返還免除に該当していることを認めます。

平成 年 月 日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長殿

職名

指導教員名

ここは必ず直筆で

朱肉印で押印

印

平成30年度
日本学生支援機構 大学院第一種奨学金「返還免除」制度
特に優れた業績の一覧表

学 籍 番 号				フリガナ
				氏 名
<p>貸与期間中の業績ですか？ 在学期間中でも、貸与期間外であればその業績は申請できません。</p> <p>例：1年次→ 貸与していない 2年次・3年次→ 貸与した ※1年次の業績は申請不可</p>				<p>裏面[特に優れた業績]の申請者は学籍番号、年次、学年、成績又は受賞の年月を記載すること。</p>
資料No.	日	特に優れた業績の名称 学会名、著書名、論文名、研究活動名	掲載誌名 または発表場所	※ 大学使用欄
1	2019年3月31日	授業科目の成績	中央大学	5A1
2	年 月 日			
	年			

資料 No.1「授業科目の成績」の様式3(表紙)は不要。その他の業績(資料 No.2以降)については、様式3を証明資料と併せて提出すること。

「修士論文」など業績の種類名だけでは不可。必ず論文名や学会名等まで記入。

可能な限り日にちまで書くこと。未記入は×!
また、この日付を裏付ける資料も添付すること。

様式2
一覧表

様式3
各業績
の表紙

証明書類
添付

様式3
各業績
の表紙

証明書類
添付

業績毎にホチキスまたはクリップでまとめる。
(枚数が多い場合は透明クリアファイルに入れる)



※各業績の資料の表紙

(様式3)

日本学生支援機構 大学院第一種奨学金「返還免除」制度
特に優れた業績を証明する資料

業績を裏付ける資料です。審査の際にわかりやすいよう「氏名」「発表先/年月日」などは、蛍光ペンを引いて目立つようにしてください。
わかりにくい場合は、選考の対象外になる場合もありますので注意してください。

資料No.	特に優れた業績の名称
-------	------------

様式2の資料 No.と合っているか確認

【作成上の注意】

- ◆個人氏名、学芸名、論文名・研究活動名、発表先・発表年月、受けた評価等が明記されている資料を提出し、その部分に蛍光ペンで印を付けてわかるようにしてください。
- ◆「特に優れた業績の一覧表」(様式2)に記入した[資料No.]の数にあわせて本用紙をコピーし、業績を証明する資料の表紙として一番上に付け、左上の所定の位置でホチキスどめしてください。(「授業科目の成績」のみの申請者は除く。)
「授業科目の成績」については、本用紙は不要です。
- ◆大きい資料については、ホチキスでとめた後、本用紙の大きさからはみ出さないように折り込んでください。

業 績	注 意 事 項
修士論文 博士論文	①コピーを提出 (ページ数が多い場合は、両面コピーも可) ②個人氏名・論文名・発表年月がわかる箇所もコピーする
公表論文 著作物 データベース等	①コピーを提出 ②発表先・発表年月・著書名などがわかる資料を添付 ③論文が有審査(査読・レフリー制度)である場合は、「特に優れた業績の名称」欄に「査読あり」と明記
学会等の発表	①プログラム(申請者氏名の明記あり)添付 ②発表内容がわかる資料(レジュメ・パワポ・論文等)添付 ※① ② ともコピー可
副専攻の修了を業績とする	表紙として本用紙を提出 ※修了書は所属研究科事務室へ提出
資格試験合格	合格証書のコピー、成績通知書
ティーチングアシスタント リサーチアシスタント	雇入通知書のコピーを添付
日本学術振興会特別研究員 (DC・PD)の採用	採用内定通知書のコピーを添付

様式2の年月日は、雇用期間を書いてください。
例：〇月〇日～〇月〇日

※業績の数にあわせて本用紙をコピーし、使用してください。